

りあす丸 指導教官日誌

出港してから2週間弱となりました。これまでに起こった船内の様子について、まとめて報告したいと思います。

9月8日(土)

出港日。専攻科生徒をのせてマグロ1次航海が始まりました。

出港時には「元気でいってまいります。」と名残惜しそうに手を振っていました。



(出港後：ログブックを書く中村君)

9月10日(月)

漁具の作成が始まりました。船長と中村君のペアで釣元の作製を行いました。



9月11日(火) 作った釣元をブラン本体につける作業です。ブランの巻き取り方が出来るようになりました。



9月14日(金)

操業の準備は最終段階にはいり、乗組員は大忙し。おやおや松原操機手が固まった機械を動かそうとしています。がんばれ松原操機手!



9月16日(日)

防火防水退船操練が行われました。自分が乗る「きゅうめいいかだ」を確認しました。



その後、松田局長が不審に動く物体を発見しました。

なんとバッタが乗船していたのです。局長が近づいたところ、バッタは水平線の彼方へ消えていきました。



(バッタと遭遇する松田局長)

9月19日(水) 操業2回目
初めて天然のマグロをみました。
かぶりつきたい。



9月20日(木) 操業3回目

9月18日(火) 操業1回目
操業が始まりました。中村君は大尻1等航海士に説明を受けながら作業を進めています。安全第一でがんばりましょう。



中村君は漂泊ワッチと海洋観測を行う日です。STDと呼ばれる機械を水中1000mまでおろす作業をしています。

航跡図

